

事業番号	09 05 01	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b>			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業費	部局	農政部	課・室	家畜防疫対策室			
		実施期間	S25 ~	E-mail	<a href="mailto:kachiku-boeki@pref.nagano.lg.jp">kachiku-boeki@pref.nagano.lg.jp</a>			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進							

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> ・家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。  <b>【これまでの取組】</b> ・家畜伝染病等の検査・摘発、豚熱ワクチン接種、防疫演習、農場HACCP取得支援など				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           ・鳥インフルエンザ・BSE等の家畜伝染病の発生の予察及び清浄性の確認のため継続的なサーベイランスの実施が求められている。            ・畜産農場の生産性阻害要因となっている慢性疾病等を低減するため家畜衛生の推進が求められている。            ・国際化の進展により、口蹄疫やアフリカ豚熱等の特定家畜伝染病が国内へ侵入するリスクが高まっている。         </td> <td>           ・家畜伝染病予防法に基づく検査等を実施し、家畜の伝染性疾病の発生予防及びまん延防止を図る。             ・安全安心な畜産物を県民に提供するため、生産段階での疾病対策や安全性確保のための検査・指導により、畜産物の安全性を確保していく。             ・飼養豚への豚熱ワクチン接種、飼養衛生管理基準の遵守指導、野生いのしし検査により、侵入防止対策を徹底する。         </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・鳥インフルエンザ・BSE等の家畜伝染病の発生の予察及び清浄性の確認のため継続的なサーベイランスの実施が求められている。 ・畜産農場の生産性阻害要因となっている慢性疾病等を低減するため家畜衛生の推進が求められている。 ・国際化の進展により、口蹄疫やアフリカ豚熱等の特定家畜伝染病が国内へ侵入するリスクが高まっている。
課 題	今後の方向性				
・鳥インフルエンザ・BSE等の家畜伝染病の発生の予察及び清浄性の確認のため継続的なサーベイランスの実施が求められている。 ・畜産農場の生産性阻害要因となっている慢性疾病等を低減するため家畜衛生の推進が求められている。 ・国際化の進展により、口蹄疫やアフリカ豚熱等の特定家畜伝染病が国内へ侵入するリスクが高まっている。	・家畜伝染病予防法に基づく検査等を実施し、家畜の伝染性疾病の発生予防及びまん延防止を図る。  ・安全安心な畜産物を県民に提供するため、生産段階での疾病対策や安全性確保のための検査・指導により、畜産物の安全性を確保していく。  ・飼養豚への豚熱ワクチン接種、飼養衛生管理基準の遵守指導、野生いのしし検査により、侵入防止対策を徹底する。				

## 2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	家畜衛生対策事業及び豚熱対策事業の執行見込みの変更に伴う減額
--------------------	--------------------------------

指標の状況及び目標値 [ / :改善、\ :悪化、→ :変化なし ]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	防疫演習の実施	3回	2回	\ 2回	→ 2回		当初予算	10,000	84,009	131,884	0
2	飼養豚への豚熱ワクチン接種	—	100%実施	100%実施	→ 100%実施		補正予算		446,038	-96,094	-30,468
3							合計(A)	540,047	314,080	163,663	
4							うち一般財源	251,956	86,297	54,889	
5							決算額(B)	312,669	167,940		
							職員数(人)	58.1	63.2	63.2	
成果指標設定理由	① 家畜伝染病発生時に迅速かつ的確な対応を可能とするための指標 ※目標値：豚熱及び鳥インフルエンザに対応するために設定  ② 豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、豚熱ワクチンを接種する取組を把握するための指標 ※目標値：対象豚全頭										

事業名	家畜衛生対策事業費	部局	農政部	課・室	家畜防疫対策室
-----	-----------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		1	家畜保健衛生所運営費				
		計	27,115	計	27,068	計	26,980
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	家畜保健衛生所運営のための経費	直接	家畜保健衛生所運営のための経費

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		2	家畜伝染病予防事業費				
		計	23,153	計	23,573	計	22,831
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	家畜伝染病の発生及びまん延防止のため、農場立入検査等を実施	直接	家畜伝染病の発生及びまん延防止のため、農場立入検査等を実施する。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		3	家畜衛生対策事業費				
		計	20,777	計	22,585	計	23,977
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	家畜衛生対策事業	直接	家畜伝染性疾病に対する危機管理体制強化及び家畜の生産性向上のため、防疫演習の実施、畜産農家データベースの更新、慢性疾病等の調査を実施する。
2	畜産農家における農場バイオセキュリティ向上の経費に対し助成	補助金	農場における消毒用動力噴霧器等の設置や、野鳥等の侵入防止を強化するための防鳥ネットの設置を支援する。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		4	B S E 監視検査事業費				
		計	7,176	計	7,803	計	7,303
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	B S E の清浄性の維持・確認のため、96か月齢以上の死亡牛全頭と48か月齢以上の起立不能等特定症状のある死亡牛の B S E 検査を実施	直接	B S E の清浄性の維持・確認のため、96か月齢以上の死亡牛全頭及び48か月齢以上の起立不能等特定症状のある死亡牛の B S E 検査を実施する。

事業名	家畜衛生対策事業費	部局	農政部	課・室	家畜防疫対策室
-----	-----------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		5	豚熱対策事業費				
		計	446,038	計	101,132	計	82,572
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	飼養豚等への豚熱ワクチン接種	直接	飼養豚等へのワクチン接種及び接種農場における免疫付与状況等の確認を行う。
2	野生いのししの感染確認検査	直接	野生いのしし群における豚熱ウイルスの浸潤状況確認検査を行う。